

音読が工夫されることになる。文の種類が内容によっても、例えば、説明文や対話文、物語、劇、手紙形式などの文によっても、読みの調子が異なってくる。

指導に当たって、次の点に留意したい。

- ① 文の意味とともに精神をしっかりくみ取らせる。
- ② 発話の音調や抑揚を生徒に工夫させる。
- ③ あまり細かい指示をしないで、のびのび読ませる。
- ④ Teaching procedure の後半に位置して活動させることがよい。

Margaret Bourke-White was a famous photographer in America. She took a lot of dramatic pictures in her life.

When she was a college student, she liked to take pictures. Her friends liked her pictures very much. Almost all of them said, "Some day you'll become a really good photographer."

"Yes," she said, "I want to become a photographer."

(New Prince English Course 2, Lesson 10)

1. 復習

- (1) テープを聞く。(ポーズ、ストレス、イントネーションに注意させる。)
- (2) 教師またはテープに続いてchorus readingをする。(文の内容が表現できるように音読させる。)
- (3) Q and A, T or F

2. 新教材の導入並びに展開

- (1) 重要文型導入と練習

(I want a watch.
I want to buy a watch. →①)

※①の文について導入し、理解させてから各生徒にI want to ~. の文を用いて、身近なことを自由に表現させる。

- (2) 新出語句の導入(文中で理解させる。)

- (3) 新教材文の口頭導入
- (4) テープを聞く。(Native speaker の範読を内容をとらえながら聞く。)
- (5) 内容のあらましをたずねる。(日問日答)
 - ① マーガレットパークホワイトさんは、どんな人でしたか。
 - ② 彼女は一生のうちでどんな写真を取りましたか。
 - ③ 彼女は大学生の時、何が好きでしたか。
(以下略)
- (6) 教師の読みに続いてchorus readingをする。
- (7) 個人読み

※文の意味や内容を確認しながら音読、又は黙読させる。

- (8) 内容確認のための英問英答
 - ① What was Margaret Bourke-White?
 - ② Did she take a lot of pictures in her life?
 - ③ What did she like when she was a college student?
(以下略)
- (9) 理解した内容が音読で表現できるよう指導し、練習させる。
- (10) 指名読みをし、その感想を発表し合う。

3. 整理

(E) 書かれていることの内容を全体としてまとめて読み取ること。

書かれていることの内容を理解するのに、とかく部分的に内容をとらえようとする傾向があり、書かれていることの内容の全体を見失う傾向がみられる。もちろん、読み取ることの過程の一部として、時には一語一句、あるいは一文ずつ順を追って読み取ること必要であろうが、最終のねらいとして、内容を全体としてまとめて読み取ることが大切である。このような読みの指導に際しては、平素から次のようなことを基本におさえるようにしたい。

- ① 意味学習を形式学習に先行させる。
- ② 文章→文→語句の順で読解させる。